

長寿命化に取り組む

国道37号白鳥大



北海道開発局室蘭開発建設部
室蘭道路事務所 所長 和田 芳明 様

橋

室蘭港の湾口部にかかる橋長1,380mの白鳥大橋は、積雪寒冷地の吊り橋としては世界でも類がない長さを誇っています。維持管理には、様々な工夫が凝らされており、たとえば、雪を吹き飛ばす日本で1台だけの除雪車を使って除雪しています。

1985(昭和60)年着工、13年をかけて1998(平成10)年に完成しました。平成24年度からは本格的な長寿命化に取り組んでおり、今年度からアスファルト舗装を直しています。

写真中央のメインケーブルは、直径5.2mmの鋼線127本を六角形に束ね、この六角形の束をさらに52本束ねて、直径48cmにもなっています。当事務所の職員は、このメインケーブルの上を歩いて日常の維持管理の作業を行っています。

これからも広域的な幹線道路ネットワークの役割を果たすとともに、多くの皆さんに白鳥が飛翔しているような美しい姿を楽しんでほしいと考えています。

主塔の中間部、高さ100mから室蘭港西胆振地区を臨む